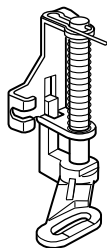


各種フリーキルト押さえの使い方

●押さえの特徴



PD-H：フリーキルト押さえ

直線模様、ジグザグ模様を使用します。
普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。



QC：フリーキルト押さえ（丸穴）

直線模様を使用します。
フリーキルトの基本的な押さえです。
押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。
前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。



QO：フリーキルト押さえ（前あき）



QV：フリーキルト押さえ（透明）

ジグザグ模様を使用します。
押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。
手元で見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。
また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

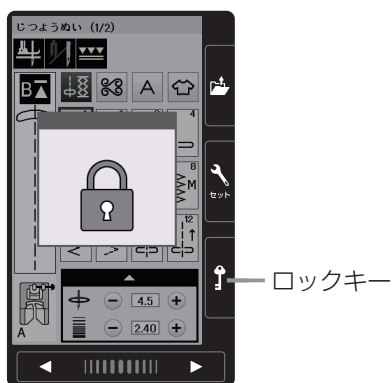
●押さえの交換

⚠ 注意

フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

★ PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方

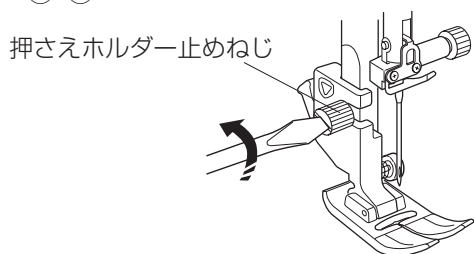
① ②



① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

② ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。

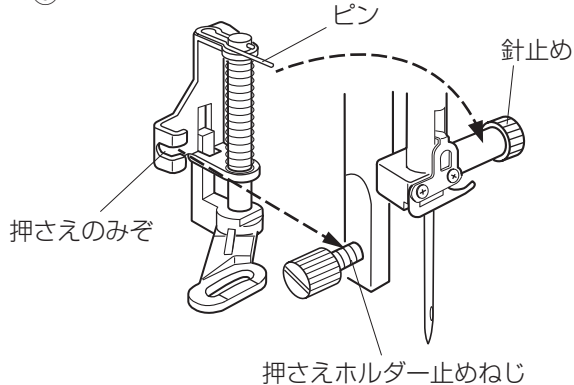
③ ④



③ 押さえ上げをあげます。

④ 押さえホルダー止めねじをゆるめ、押さえホルダーを外します。

⑤

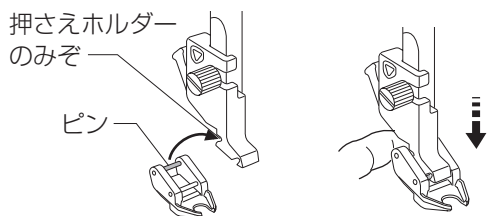


⑤ 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト押さえのピンを針止めの上にのせ、押さえのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
※ 取り付け後、押さえが傾いていない事を確認してください。針が押さえにあたり、けがの原因になります。

⑥ ロックキーを押して、ロック状態を解除します。

※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、フリーキルト押さえを取り外します。

★フリーキルト押さえ QC: (丸穴) / QO: (前あき) / QV: (透明) の取り付け方



(例：フリーキルト押さえ QO：前あき)

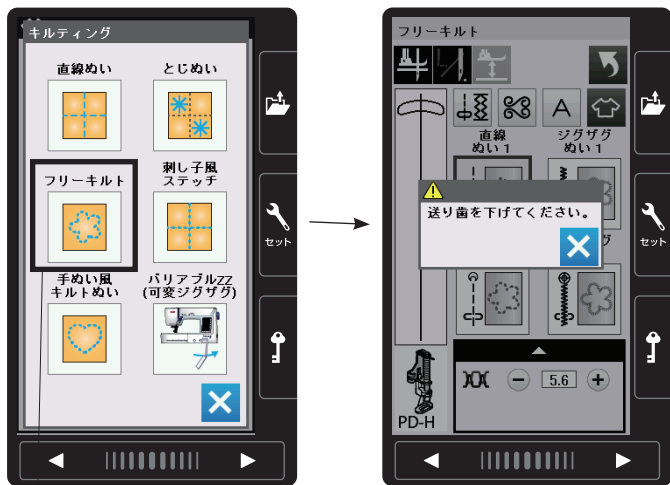
① 使用しない押さえを外します。

② 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。

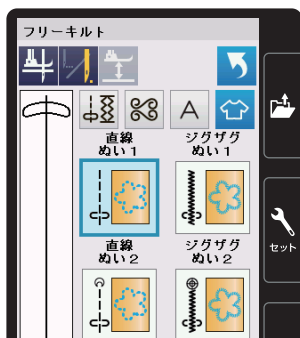
③ 押さえのうしろを軽く押さえながら押さえ上げをさげます。

※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にし、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

● PD-H: フリーキルト押さえのぬい

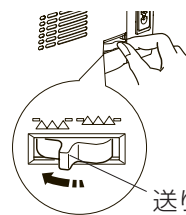


フリーキルト



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1針あたり3mm以上布を動かさないでください。

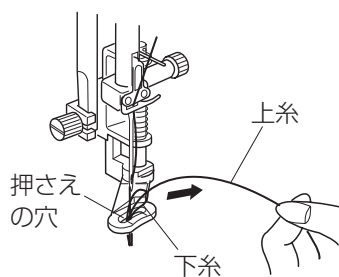
フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、「送り歯を下げてください。」のメッセージがでますので、送り歯ドロップつまみで、送り歯を下げてください。



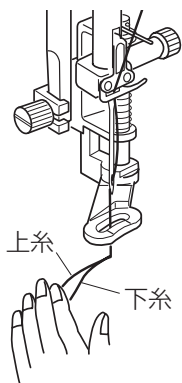
送り歯ドロップつまみ

- ① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
 - ② ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
 - ③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。

① ② ③

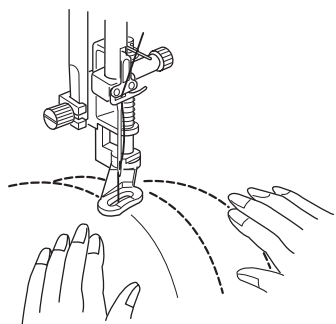


④



- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

⑤

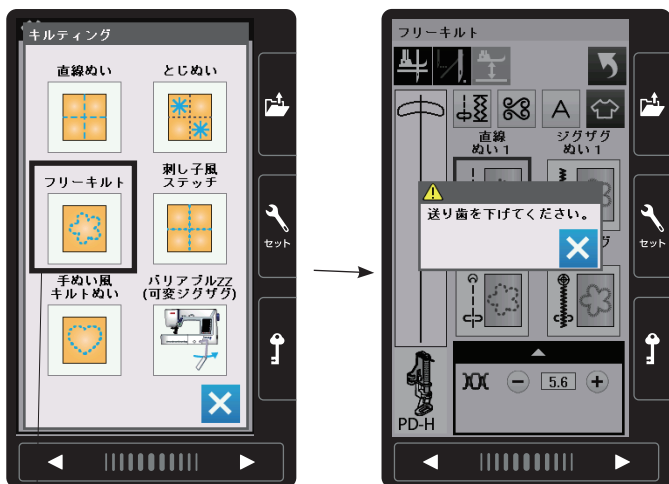


- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。

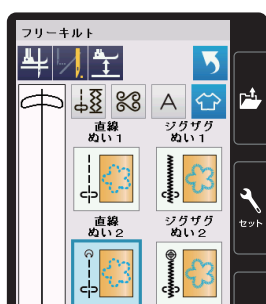
※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

●フリーキルト押さえ QC: (丸穴) / QO: (前あき) / QV: (透明) のぬい

【QC: フリーキルト押さえ (丸穴) /
QO: フリーキルト押さえ (前あき)】



フリーキルト



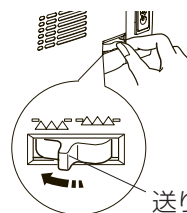
両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。

その場合は押さえ高さの調節をしてください。

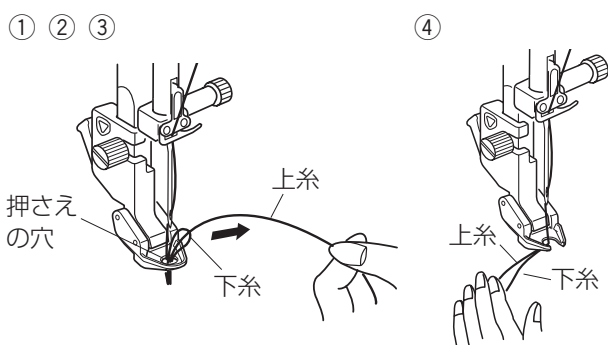
(6 ページをごらんください。)

フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、「送り歯を下げてください。」のメッセージがでますので、送り歯ドロップつまみで、送り歯を下げてください。

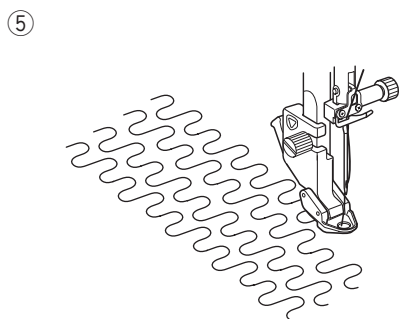


送り歯ドロップつまみ

- ① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
ミシンは 1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。



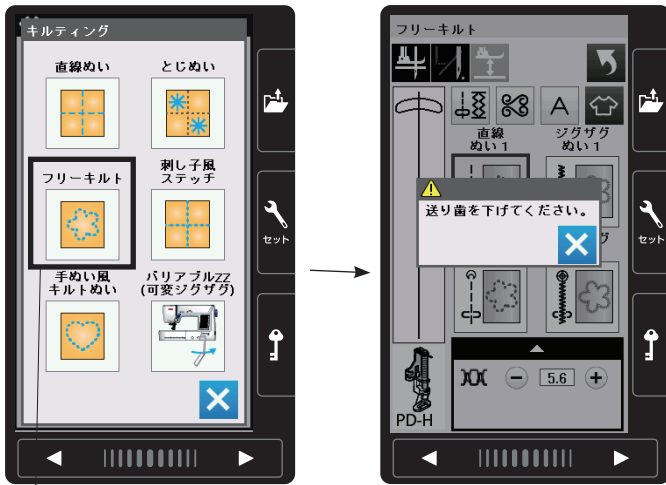
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
※ QO: フリーキルト押さえ (前あき) は押さえの穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、押さえおきます。



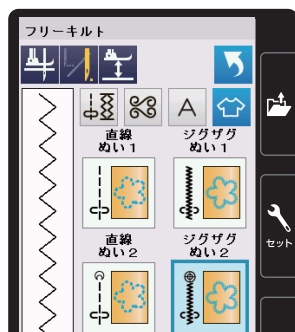
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらキルトティングをぬいます。

※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

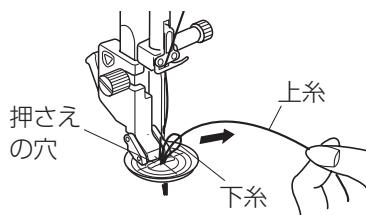
【QV: フリーキルト押さえ (透明)】



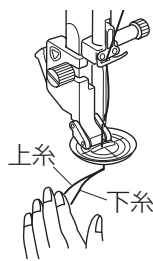
フリーキルト



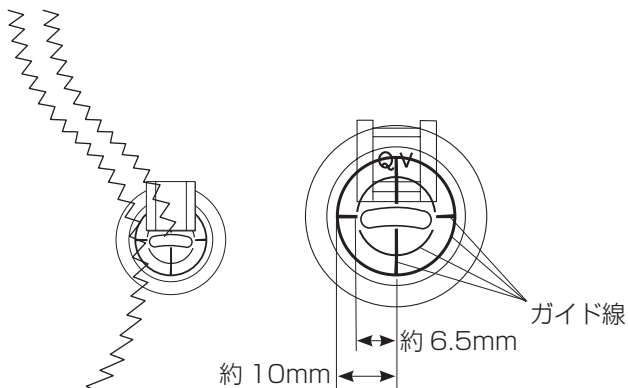
① ② ③



④



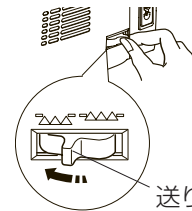
⑤



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。
その場合は押さえ高さの調節をしてください。
(6 ページをごらんください。)

フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場合、「送り歯を下げてください。」のメッセージがでますので、送り歯ドロップつまみで、送り歯を下げてください。



- ① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
ミシンは 1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通り、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

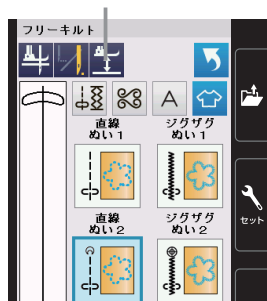
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらガイド線に合わせ、等間隔にキルティングすることができます。

※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

●押さえ高さ調整

〔模様選択画面／フリーキルト〕

押さえ高さ調節キー



〔押さえ高さ調節画面〕



PD-H：フリーキルト押さえは、ぬい中最適な押さえ高さ（押さえの下面が布に軽く触れる位置）に自動セットされますが、QC：フリーキルト押さえ（丸穴）とQO：フリーキルト押さえ（前あき）、QV：フリーキルト押さえ（透明）の場合、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さの調節をしてください。

- ① 押さえ高さ調節キーを押します。
- ② 押さえ高さ調節画面が表示されます。
※ 高さのオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）は、1.5mmです。
- ③ 押さえ高さを高くするときは、「+」キーを押します。
押さえ高さを低くするときは、「-」キーを押します。
- ④ OK キーを押します。変更した値が確定されて、前の画面にもどります。
※ 閉じるキーを押すと押さえ高さを変更されずに、前の画面にもどります。
※ 変更した値をオート値にもどす場合は、初期化キーを押して、OK キーを押します。